

うちゅうせん新聞

広報係 09年1月24日発行 3号

仙台市天文ボランティア会報

“例会”より

9月20日(土) 14:00~16:00 出席者16名

<議事内容>

備品保管 必要なものは天文台に保管できるよう検討することになりました。須藤さん、1年間備品保管ありがとうございました。

新星座物語 次回例会で着色を手配します。飯田さんご苦労様です。

合宿・芋煮会 今年度は見送りの予定。

星まつり 実行委員は後日選出。

観望会 予定と参加者の確認。

会計から 天文台のパスポートの補助は10月の定例会までに申請してください。

その他

・参加賞 シール以外のものがあつたら、アイデアを出し合ひましょう。

・連絡等のメール送信は、個人名を入れましょう。

10月18日(土) 14:00~16:30 出席者12名

錦ヶ丘の天文台に行く事にも慣れたこの頃、今回の例会も盛り沢山のの中身になりました。そして、新星座物語『北極星のお話』の完成も間近のようです。

<議事内容>

新星座物語『北極星のお話』のスライドの色塗り係(6名)の役割分担について。

星まつり: 12月6日(土)について

場所: 仙台市泉区役所前広場 現地集合: 14時

星まつり開始: 16時 終了時刻: 20時30分

各自の望遠鏡で金星・月・木星・昴等を観て頂く。

星座物語・天文クイズを女性中心で行う。

移動天文台ベガ号も来場。

同日全国天文同好会サミットが行われ、永井船長参加の予定。

高森市民センターの観望会の折にとつたアンケートがうちゅうせん新聞に掲載する予定。

新乗組員を勧誘しましょう!!

今年は、ガリレオが自作望遠鏡で天体観測を始めてから400年を記念する「世界天文年」、7月の皆既日食など、天文に関心が向けられることが多い年になりそうですね。観望会も増えるかも。広報では、いろいろな記事を書いていきたいので、幅広い分野での記事投稿をお待ちしています。



観望会より

海岸公園冒険広場観望会9月21日(日)

19:00~20:30(うちゅうせん3名、参加者50名)

残念ながら2回続けての晴天とは行きませんでした。本来は先週(13日)の予定でしたが曇天で変更になりました。昨年も見られなかったことから予備日を設定しましたが、駄目な時は駄目。天候だけは如何ともし難いですネ!

今月の星空説明(近藤)・星座物語「くさりにつながれたお姫様」(伊川)。その後星座ビンゴ・お月様の話(永井)・質問コーナーで室内終了。ここまで1時間半。

質問は、「月に色が付いて見えるのは?」「土星の輪は何で出来ているの?」は小学生の質問。大人からは「土曜日に天文台に行こうと思っているが、曇っていても星は見られるんですか?」という極めて素朴な質問でした。丁寧に答えました事言うまでもありません。

最後に近藤さんが室外に土星の擬似観望の準備をしてくれ、皆さん望遠鏡を体験してのお帰りでした。冬は寒い風が吹く場所らしいですが、どうしても本物の月や星を見たい!!との事ですので、再度の依頼が有りそうです。

榴ヶ丘・軽体育館観望会 10月4日(土) 18:00~19:30(うちゅうせん4名、参加者66名)

親子合わせて76名の参加申し込みが有ったようですが、生憎の小雨・曇り空で星を見ることは出来ませんでした。こういうケースでは半数の方が参加されないのを経験していますが、今回の欠席は10名のみと言う優秀さ・でした。それだけに本物を見る事が出来なかった事の落胆は大きかったです。今回は私のミスで18時開始のところを18:30と勘違いし、慌てて準備し、挨拶・天文の四方山話・太陽系惑星の話と1時間近く独演会状態。その後、宝示戸さんの星空説明と望遠鏡の話し、引き続き星座物語。

折角のチャンスですので、若干の時間を頂戴し、質問コーナーをし、帰り際、子供たちに天文シールを参加賞として渡しての終了でした。

榴ヶ岡小学校4年生の授業の一環と言う意味合いがあつたとの事で、先生も見えていた、と言う事を後で聞きました。先生の感想は?

東松島観望会 11月5日(水) 19:00~20:00(うちゅうせん4名、参加者77名)

上弦1日前の月とやや低くなって来た木星が見えたので、玄関前に集合して貰い、観望から開始しました。望遠鏡は4台、月・木星それぞれ2台づつ、4班に分かれ全部の望遠鏡を見て貰いました。観望終了まで25分ほど、その後2階の教室に入り、今月の星空説明星座物語(くさりにつながれたお姫様)、最後に質問コーナーで終了しました。

東松島での星の教室も3年目になりますが、過去最良のお天気に恵まれた晩となりました。

当方参加者は近藤ご夫妻・宝示戸さんと小生の4人でした。何時もこんな天気だといいいんですが・・・。11/14:54名、11/21:64名で実施

高森市民センター観望会 10月11日(土) 19:00~20:30(うちゅうせん4名、参加者20名)

絶望的なお天気で星や月を見る事はほぼ無理でしょう、と言うことでの開始でした。

挨拶・自己紹介の後、斉藤さんの今月の星空説明、その後星座物語・豪華2本立ての予定で「くさりにつながれたお姫様」が始まり、中ほどで、窓から雲越しの月が見え始めたので駄目元で外に出て機材をセッティング、参加者も多くは無かったことから2本目は止めにし、急遽室外に・・・2台の望遠鏡でお月様を見て貰うことが出来ました。丁度全員が見終ったところで月は再び雲の中へ・・・

再び室内に戻り、大石さん主導でビンゴゲーム。約半数がビンゴになったところで賞品は打ち止め。でもビンゴにならなかった子供たちへは全員に賞品を渡しました。

その後地球儀を使ってのお話、最後に10分間ほどの質問コーナーで終了。参加賞として子供たちへ天文シール、親御さん7名にはオーロラと日食の写真をプレゼントして大変喜ばれました。担当の方から天文シールの説明の要請があり、終了時刻オーバーとなりました。結果的にフルコースでの実施となりましたが、本物のお月様を見て貰うことが出来万々歳でした。

りふ環境まるごとフェア 11月9日(日)9:30~15:00(うちゅうせん4名、参加者?名)

残そうクリーンな地球!考えようエコライフ!の町のイベントに太陽観測のため参加。機材の設置を終え備えは万全ですが、肝心の太陽は分厚い雲の中。終了まで太陽観測は無理そうな予感。結果は予感通りでした。

遠藤さんが持参したコロナも近藤さんから拝借したコロナも残念ながら使用のチャンスなし!仕方が無いので、単なる望遠鏡で?遠くのアンテナや紅葉などを見て貰うしか有りませんでした。午前中は渡辺さんも駆けつけてくれましたので3人体制でしたがまったくの手持ちぶさたで時は過ぎて行きました。(笑)

われわれの両隣は、汚泥乾燥肥料を広めるコーナーと太陽光&太陽熱モジュールの開発をしているJAXAのコーナーでいろいろな事を聞く事が出来たのはちょっとした収穫でした。

本来うちゅうせんのコーナーは雨天・曇天中止の約束で、PRパンフレットにもその旨の記載が有ったんですが、天気予報や朝の状況だけで行くのを止めたなら晴れ間が・・・などと言う事も想定される事から決行したものです。

太陽が顔をささないお天気の中参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。

松島少年自然の家観望会 11月13日(木) 19:00~20:30(うちゅうせん3名、参加者54名)

野蒜小と宮戸小の4年生が参加しました。

夕方までは雲一つ無かったのに到着頃には厚い雲に覆われてしまいました。(日中天気良すぎ)やむなく空の状況を見ながら、中での開催となりました。

・はじめにリーダー挨拶・その後自己紹介。

・星座物語・今月の星空・天文クイズの順。

その後、「今日望遠鏡を覗かないと一生覗かない子がいるかも?」ということで、疑似観望の予定で外に出てみると雲が切れ始めていました。

急遽、満月を2台の望遠鏡で、もう1台は疑似土星を見てもらい、見終わった子には実際の空でレーザーを使っての夏の大三角の説明を実施しました。

星座物語で秋の星座、クイズでオリオン座、外で夏の大三角、望遠鏡で月と4年の理科で習う星の授業のフルバージョンの内容となりました。撒収しているうちに、また全面雲に覆われました。

“例会”より<その2>

11月22日(土) 14:00~16:00 出席者 14名

<議事内容>

星まつり 駐車場・準備物・夕食などの確認。

観望会 予定と参加者の確認。

新星座物語 進行状況の確認。

アンケートの依頼 県 NPO 活動促進室と市民活動支援室からアンケートの依頼があり、永井さんが返信した。

その他 12月6日の同好会サミットは、永井さんが参加されます。M-リングリストのPC用は削除する。

12月20日(土) 15:00~17:00 出席者 11名

・星まつり報告と反省

・世界天文年『星空を見上げてみよう』賛同:申請

新乗船員紹介! 渡辺(利)さん

新年明けましておめでとうございます!

10月から参加させて頂いております渡辺です。

昨年中はいろいろとご指導ありがとうございました。

観望会参加はまだ「太白小学校」だけですが、

今後できるだけみなさまのサポートができるよう

なればと考えております。

引き続きご指導よろしくお願ひ申し上げます。

その他の星空観望会

えぼしスキー場・山頂(星空さんぽ)10月25日(土)19:30~20:30(うちゅうせん2名、参加14名)

えぼしスキー場での催事(10月以降休日予定、最小催行人数20人)は参加者不足のため、ずーっと中止でしたが、25日初めての実施となりました。出発時から曇り空・現地に向かう道々も回復の兆しも無く星は見られないだろう!の思いでしたが予想通りとなりました。それでも機材持参でゴンドラに乗り1100mの展望台へ。

星はおろか夜景も低く垂れ込めた雲の為に、はっきり見えるのは遠刈田・川崎・白石だけ。仙台を初め角田・柴田・岩沼などは僅かの明かりだけ。時間と共にそれすら見えなくなっていく様子。

辛い寒さはほとんど感じられませんでした。見る物の無い所に長居は無用!と早めの下山をし、下のレストランで即席の天文の話し&配った天文シールの16コマを説明。簡単にやったつもりでしたが、終了時刻は後ろにずれ込みました。楽しそうに聞いてもらいました。

観望会より

亘理図書館観望会 11月22日(土)18:30~20:30(うちゅうせん5名、参加者40名)

先方さんから、3年間で星の教室の実施が今日で8度目になるが晴れて星が見られるのは3度目です、の挨拶がありました。晴れ女を自認する曾部さんが参加したからでしょうか?そうだとしたら毎回参加して欲しいな~

自己紹介・今月の星空説明の後、お天気が何時へそを曲げるか判らないので、最初に星を見て貰う事にしました。18:30の開始でしたから木星は低くなり、チラッとしか見ることが出来ませんでした。遠藤さんのレーザービームを使った星座の説明の後、望遠鏡5台で、すばる・h・アンドロメダ銀河・アルビレオ・北極星などを見て貰う事が出来ました。

寒さはそう厳しくは有りませんでした。温かいコーヒーとココアのサービスが有り参加者全員が大喜び!遠藤さんが双眼鏡を大量(20台?)に持参し、大変喜ばれました。

19:50頃に室内に戻り、曾部さんのナレーションでくさりにつながれたお姫様を上映し引き続き日食の話をして約束の終了時刻となりました。

来年も2回の実施の要請が有りました。例会終了後、天文台から直行でしたが、名取・岩沼の混み様は半端では有りませんでした。余裕を見た積りでしたがやっと間に合う有様でした。しかし、晴れて星が見られると終了感(達成感)が違いますネ!

寺岡市民センター観望会11月28日(金)18:00~19:40(うちゅうせん3名、参加者37名)

朝からの小雨。センターの担当の方から早々と「星は見られそうに無いけどよろしくおねがいます」の電話が有りました。過去、ベガ号に何回か来てもらっているが星が見られた事が一度も無いんです!とも・・・自己紹介の後画像を見ながらの「今月の星空」星座物語「くさりに・・・」、急遽作成した「光害について」を私から説明しましたが、第一段階として「光害」と言う言葉を憶えて帰って貰えたらそれでいいと思いました。そして「星座ビンゴ」賞品(下敷)は子供だけ先着11名でしたが、それなりに盛り上がりましたし、星座カードを読む子供たちが大きな声ではっきりと読んでくれたのが印象的でした。

設問コーナーの前に「七夕物語」のリクエストがあり、星座物語は結果2本立てとなりました。質問コーナーでの質問は3つでした。

イベント報告 うちゅうせん+同好会

第9回星まつり実行委員会より報告

12月6日(土)第9回仙台星まつりを泉区役所 区民広場で仙台天文同好会と共同開催しました。実行委員会では10月より数回の打ち合わせを重ね当日の準備を行って参りました。

会場設営ではテントを張り、星座物語・天文クイズ用スライド・プロジェクターをセッティングし、お客様がゆっくり出来るようパイプ椅子の用意も致しました。そしてベガ号も出勤し、迫力ある会場となりました。星まつり後半は生憎の天候となってしまいましたが、うちゅうせんの参加者9名、同好会8名、東北大学天文同好会9名の皆様、雪の降る中大変お疲れ様でした。

そして、暖かい差し入れありがとうございました。

(うちゅうせんホムイージ)より:星まつり

(投稿者名等、一部省略しています)

星まつり写真です 投稿者:藤村&吉田@星まつり実行委員会 投稿日:2008年12月6日(土)

うちゅうせんからご参加の皆さん大変お疲れ様でした。朝からの好天も集合時間の15時頃には西空に雪雲...開始時間の16時過ぎ・・・日和雨です。

青空の中、月も金星も見えているのにポツポツ...それでも小降りのは月と金星をみて頂きました。少ないお客さんでしたが大喜びでした。

初めての泉区民広場・・・大きなトラブルも無く晴れてさえくれればもっと盛り上がった事でしょうね。後半雪に変わり19時撤収となりましたが寒く曇天の中参加頂いたSTAFFの皆さんに感謝です。

天文台から参加頂いたベガ号、千田さん、ドライバーさんニコニコ笑顔での対応有難うございました。東北大学天文同好会9名の皆さん悪天候の中機材を出して頂き有難うございました。



星の休憩タイム <今年は365日+1秒って知ってた?>

うるう秒の実施日

実施回数	実施日	うるう秒
24	2009年1月1日	+1秒
23	2006年1月1日	+1秒
22	1999年1月1日	+1秒
21	1997年7月1日	+1秒
20	1996年1月1日	+1秒
19	1994年7月1日	+1秒
18	1993年7月1日	+1秒
17	1992年7月1日	+1秒
16	1991年1月1日	+1秒
15	1990年1月1日	+1秒
14	1988年1月1日	+1秒
13	1985年7月1日	+1秒
12	1983年7月1日	+1秒
11	1982年7月1日	+1秒
10	1981年7月1日	+1秒
9	1980年1月1日	+1秒
8	1979年1月1日	+1秒
7	1978年1月1日	+1秒
6	1977年1月1日	+1秒
5	1976年1月1日	+1秒
4	1975年1月1日	+1秒
3	1974年1月1日	+1秒
2	1973年1月1日	+1秒
1	1972年7月1日	+1秒

1月1日午前9時(日本時間)に3年ぶりのうるう秒挿入が行われました。天体の動きに基づく時刻(天文時)と原子時計の時刻(原子時)が0.9秒以上ずれないようにするため1秒を加減する操作。これまで全て加えているというのは天文時が原子時に対し遅くなっていること宇宙は遅くなってきているという事でしょうか。

編集後記

仙台市天文台の展示の中で太陽系模型が気に入ってます。自転と公転を再現しています。木星と土星は大きいのに自転が早く、特に土星は環(わ)があるためコマそのもの!何か楽しい気分になりました。このように感じて天文ファンが増えると良いのですが(辺)

11/9と12/13にJAXAも主催のセミナーに参加した。「宇宙教育について」の講演をされる的川泰宣さんが面白い、笑いのつぼを心得ている。今年は何んなセミナーがあるのか..楽しみである。(伊)

高森市民センターの観望会のアンケートのコピーを・・・目下捜索中です(汗)どうしよう?次の広報に載せられるかな。(石)

年が明けてから天文台プラネタリウムで「ファラオの星」「太陽の秘密」を見ました。とても迫力ある上映でした。これからもプラネタリウム上映を心待ちしています。(今)

